

すべての事業者に、IT 点呼を。

IT 点呼、対面点呼、電話点呼、遠隔点呼、あらゆる点呼に対応
クラウド点呼システム 『e点呼 PRO』 発売のお知らせ

アルコール検知システム、IT 点呼システム、運行管理システムを開発・販売する東海電子株式会社（本社：静岡県富士市 代表取締役 杉本 哲也）は、この度、クラウドタイプの点呼システム『e点呼 PRO』を発売致します。

1. 製品概要

本製品は、当社の、ALC-PRO、Tenko-PRO、Karte-PRO、HC-PRO、Aino-PRO、運管 PRO に続く、法人向けシリーズの最新製品で、クラウド型の統合点呼システムです。トラック、バス、タクシー、鉄道、航空、一般企業（安全運転管理者選任事業所）等、アルコールチェックや点呼が義務付けられているすべての事業者様へ、安全、安心、健康を実現する業務インフラとしてご利用いただくため約2年をかけて開発致しました。

- 製品カテゴリ：企業向けクラウド点呼システム
- 製品名：e点呼 PRO（イーテンコプロ）
- 販売先業種：
 - ：運輸事業主（トラック、バス、タクシー、航空、鉄道）
 - ：一般事業主（産廃事業、建設、卸売業他、安全運転管理者選任事業所）
- 製品構成：法的要求事項（国土交通大臣が定める IT 点呼機器）から、アルコール検知器との連動を前提としている

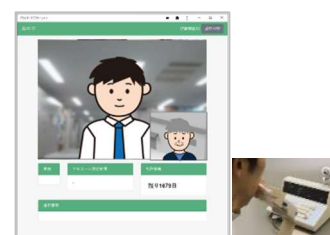
クラウド点呼 e点呼 PRO システム概要

1. クラウド上で、点呼計画を立て、点呼を実施、記録する

【アプリ名：ドライバーアプリケーション】



営業所-営業所

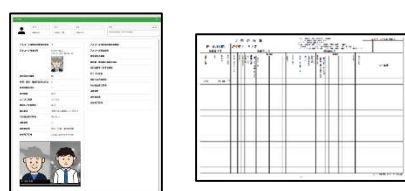


営業所-遠隔地
(車庫、出先)

2. クラウド上で、電子(e)点呼簿を保存する

【スマホアプリ名：運輸安全 Uni】

【アプリ名：e点呼 PRO】



2. 適用（対応できる点呼形態）

e点呼 PRO は、あらゆる形態の点呼に対応しています。すべてをひとつの点呼記録簿として管理することができます。旅客・貨物運送事業者のあらゆる点呼方式に対応するだけでなく、2022年4月からの、一般事業主（安全運転管理者選任事業所）による、対面によるアルコールチェック、対面によらないモニターや映像を用いた点呼、にも対応しています。

クラウド点呼 e点呼 PRO							
e点呼 PRO 標準	緑ナンバー						白ナンバー
	対面点呼	車庫 IT点呼	営業所同士 IT点呼	電話 点呼	遠隔地 IT点呼	遠隔点呼 (*1)	対面・電話 モニタ・IT
	○	○	○	○	○	△(別紙)	
	電子 点呼記録簿	電子 点呼記録簿	電子 点呼記録簿	電子 点呼記録簿	電子 点呼記録簿	電子 点呼記録簿	電子 点呼記録簿
	顔認証	顔認証	顔認証	顔認証	顔認証	顔認証	顔認証
クラウド保存 オプション		録音・録画	録音・録画	録音・録画	録音・録画	録音・録画	

(*1については 7. e点呼 PRO の遠隔点呼へ適用 を参照ください)

3. 適用（対応アルコール検知器）

e点呼 PRO で利用できるアルコール検知器（東海電子製）は、2機種です。

- ① 設置型アルコール検知器 ALC-PRO II
- ② 携帯型・スマートフォン接続型アルコール検知器 ALC-Mobile II

システムを使った点呼を実施する人数に応じて、最適な機種をお選びいただけます。

<点呼対象人数と最適機種の組み合わせ例>

製品名	対面点呼用 アルコール 検知器	営業所間 IT 点呼用 アルコール 検知器	遠隔点呼用 アルコール検知器		車庫 IT 点呼 遠隔地 IT 点呼用 アルコール 検知器
e点呼 PRO					
目安	20人～数百名	20名～数百名	1～20名程度	20名～	1～20名程度

4. 主な機能

クラウド点呼 e点呼 PRO は、計画的に、漏れなく、あらゆるパターンの点呼を正しく実施するために、以下の機能を備えています。

1. 点呼フォーマットの作成	自社の業態に合わせたオリジナルの点呼記録簿を作成できます。複数種類作成できます。
2. 点呼計画の作成	運行予定に合わせた正しい点呼のタイミングを実現し、漏れを無くすため、点呼予定を立てます。対面、IT、電話等、点呼方式も予め決めることができます。運転者台帳、過去点呼記録コピー、CSV、作成方法が3通りあります。
3. 点呼計画の確認・閲覧	企業管理者（本社、本部等）は、自社のすべての点呼予定されている点呼を閲覧することができます。
4. ドライバーの顔認証	ドライバーを顔で認証し、点呼やアルコールチェックを実施します。IT点呼、遠隔地IT点呼、遠隔点呼等において、本人確認性の高い点呼が可能となります。
5. 点呼（対面、電話、IT、遠隔）を実施する	ドライバーのバイタルデータ（飲酒、体温、血圧等）や、過去の事故・違反歴等を確認し、そのひとの実態に即した対話ができます。
6. 点呼漏れをチェックする	正しい点呼のタイミング画面上で、出庫予定なのに点呼をしていない状態や、出庫したのに帰庫点呼が未完である状態を確認することができます。
7. 点呼を電子記録する	決められた点呼項目に従いもれなく点呼を実施してゆくと電子点呼記録として保存されます。オプションで、動画（音声、映像）保存も可能です。点呼結果を、従来型の点呼記録簿に印刷したり、CSVで外部出力することもできます。
8. 点呼執行者の顔認証	点呼執行者は、点呼終了時、直接押印する代わりに、顔認証を行うことで点呼記録の「電子印」的な押印ができます。
9. スマートフォンを使った運転免許証認証	運転免許証をスマートフォンで読み取り、点呼を開始できます。運転免許証の不携帯防止に役立ちます

5. 価格体系（初期費用と、維持費用）

e点呼 PRO の導入費用は、点呼体制によって替わってきます。大きくは、営業所ごとに使用するソフトウェアライセンス費用と、ハードウェア費用（カメラや測定機器類）に分かれます。

以下は、1対2（酒気帯び確認は、被点呼実施側2ヶ所）でIT点呼を行う場合の初期費用です。

【1対2 初期費用イメージ】(税込価格)

点呼実施側		被点呼実施側 1	
¥105,600	クラウド顔認証	¥105,600	クラウド顔認証
	クラウド運転者台帳		クラウド運転者台帳
	クラウド飲酒管理		クラウド飲酒管理
	クラウド健康管理		クラウド健康管理
	クラウド点呼		クラウド点呼
	点呼用スマホアプリ		点呼用スマホアプリ
¥30,800	点呼用カメラ	¥30,800	点呼用カメラ他(*2)
¥105,600	初年度クラウド利用料	¥105,600	初年度クラウド利用料
		¥437,800	ALC-PRO II IC 運転免許証スターターパック(*3,4)
		被点呼実施側 2	
		¥105,600	クラウド顔認証
			クラウド運転者台帳
			クラウド飲酒管理
			クラウド健康管理
			クラウド点呼
			点呼用スマホアプリ
		¥30,800	点呼用カメラ(*2)
		¥105,600	初年度クラウド利用料
		¥437,800	ALC-PRO II IC 運転免許証スターターパック(*3,4)

*2 正確には、カメラ・マイク・スピーカーの3点セット

*3 10人以上の営業所を想定し、設置型のアルコール測定システムを選択した場合

*4 セットアップ作業費、HW保守料費用は含まれていません

【1対2 維持費用イメージ】(消費税込)

点呼実施側		被点呼実施側 1	
年間クラウドサーバー年間料金 ¥105,600/年		クラウド サーバー料金 ¥105,600/年	保守料金 アルコール検知器 ¥107,800/年 IC 運転免許証 R¥9,240/年
		被点呼実施側 2	
		クラウド サーバー料金 ¥105,600/年	保守料金 アルコール検知器 ¥107,800/年 IC 運転免許証 R¥9,240/年

6. e点呼 PRO の動画保存バージョンについて

e点呼 PROには、標準アプリケーションと、動画保存機能対応アプリケーション、2種類あります。動画保存機能はIT点呼や遠隔点呼の必須要件ではありませんが、事業者にとっては、点呼中の会話やアルコールチェックなど、一連の動画が保存されることで、点呼体制の規律や、点呼の標準化が確立されるメリットがあります。

保存データ量が大きく違いますので、標準アプリケーション契約と動画保存アプリケーションの契約は、料金プランが異なっています。自社の運用に合わせて、どちらかをご選択ください。

標準 アプリ	e点呼 PRO 年間利用料	¥105,600 (税込)	初年度及び次年度 以降もこの金額
動画保存 対応	e点呼 PRO recorder 年間利用料	¥250,800 (税込)	初年度及び次年度 以降もこの金額

7. e点呼 PRO の遠隔点呼への適用について

e点呼 PRO クラウドアプリケーション単体では、遠隔点呼としては認められません。

しかし、本製品 e点呼 PRO は、遠隔点呼の要件に必要なハードウェアを組み合わせることで、遠隔点呼の12項目チェックリストをクリアできます。遠隔点呼機器として適合させるには、別途、記録型のアルコール検知器や、記録型の健康管理機器の購入が必要です。なお、IT点呼申請においては、健康管理機器は必須ではありません。点呼機器の要件の差分にご注意ください。

<遠隔点呼申請書類 別紙1と別紙5>

別紙 1

遠隔点呼の実施に係る申請書

令和 年 月 日

○遠隔点呼 ○遠隔点呼長 弊

姓 氏
姓又は名称
代表者氏名
〔連絡先〕担当氏名
〔連絡先〕電話番号
〔連絡先〕メールアドレス

遠隔点呼を下記のとおり行いたいので関係書類を送って申請します。

記

1. 遠隔点呼を行う自動点呼装置等の確認 (設置するものに○をつけること)
→総機舎、→総室切、→総車用、→独立機舎、→総室機

2. 遠隔点呼の種類 (例、各業所、→車庫用、客車所、グループ企業の各業所等)

3. 営業所・車庫の走行等

営業所・車庫の名称 (遠隔点呼業務担当 高所等又は作業員が作業員の高所等の 実況記録、グループ企業との間で遠隔点呼を行う 場合によっては事業名も記載)	営業所・車庫の所在地	使用する点呼機器の名称 (型式)

4. 遠隔点呼開始予定日 令和 年 月 日

5. 添付書類
・資料機器、システムのパンフレット等、性能及び機能が確認できる資料
・グループ企業であることを示す資料 (グループ企業との間で遠隔点呼を行う場合のみ)
・遠隔点呼の実施に係る適合確認・宣誓書 (別紙5)

(日本労働科学協会)

別紙 5

遠隔点呼の実施に係る適合確認・宣誓書

代表者
代表者
代表者

1. 遠隔点呼の安全の確保に当たり、下記のとおり、遠隔点呼実施要領文、標準・システム要件の各項目に適合することを確認しました。

要件	要件の適合方法
1. カメラ、センサー等を用い、遠隔点呼実施要領文等の遠隔点呼装置等が、遠隔点呼の実施要領文等の規定に準じて、点呼、点呼長等の業務、記録、監視、記録等の機能を適切に確保できる状態であることを確認すること。	
2. アルコール検知器等の検知結果を即時に記録する仕組みとし、遠隔点呼の実施要領文等の遠隔点呼装置等が記録結果を適切に記録できる状態であることを確認すること。	
3. 業務に支障をきたすような点呼装置等の停止や故障の発生を防止すること、また、点呼装置等の停止や故障発生時の対応を適切に行うこと。	
4. 業務に支障をきたすような点呼装置等の停止や故障の発生を防止すること、また、点呼装置等の停止や故障発生時の対応を適切に行うこと。	
5. 遠隔点呼の実施に当たり、以下の事項を遠隔点呼を行う事業者等と確認すること。	
(1) 点呼装置の種類	
(2) 点呼装置の型式	
(3) 点呼装置の名称	
(4) 点呼装置の型式	
(5) 点呼装置の型式	
(6) 点呼装置の型式	
(7) 点呼装置の型式	
6. 遠隔点呼の実施要領文等の遠隔点呼装置等が、遠隔点呼の実施要領文等の規定に準じて、点呼、点呼長等の業務、記録、監視、記録等の機能を適切に確保できる状態であることを確認すること。	
7. 遠隔点呼の実施要領文等の遠隔点呼装置等が、遠隔点呼の実施要領文等の規定に準じて、点呼、点呼長等の業務、記録、監視、記録等の機能を適切に確保できる状態であることを確認すること。	
8. 遠隔点呼の実施要領文等の遠隔点呼装置等が、遠隔点呼の実施要領文等の規定に準じて、点呼、点呼長等の業務、記録、監視、記録等の機能を適切に確保できる状態であることを確認すること。	
9. 遠隔点呼の実施に当たり、以下の事項を遠隔点呼を行う事業者等と確認すること。	
(1) 点呼装置の種類	
(2) 点呼装置の型式	
(3) 点呼装置の名称	
(4) 点呼装置の型式	
(5) 点呼装置の型式	
(6) 点呼装置の型式	
(7) 点呼装置の型式	

遠隔点呼の申請にあたり、12項目の適合宣言が必要です。以下、12項目チェックリストと当社の製品群の適合表です。

<e点呼PROを、遠隔点呼機器として申請するために必要なもの>

No	遠隔点呼の実施に係る適合確認・宣誓書 別紙5の1部分 12項目チェックリスト	東海電子が提供できるもの						お客様のシステムやデータ管理			
		クラウド点呼 e点呼PRO		遠隔点呼実施に 必要なハードウェア				労務時間	携行品確認	日常点検	車両の整備状況
1	カメラ・モニター等を通じ、遠隔点呼実施営業所等の運行管理者等が、被遠隔点呼実施営業所等の運転者の顔の表情、全身、酒気帯びの有無、疾病、疲労、睡眠不足等の状況を随時明瞭に確認できる機能を有すること。	クラウド 運転者 台帳	クラウド 顔 認証	クラウド 飲酒 データ 管理	クラウド 健康 管理	記録型 アルコール 検知器	記録型 体温計				
2	アルコール検知器の測定結果を自動的に記録及び保存するとともに、遠隔点呼実施営業所等の運行管理者等が当該測定結果を直ちに確認できる機能を有すること。										
3	事前に登録された運行管理者等以外の者が遠隔点呼を行うことができないよう、個人を確実に識別できる生体認証機能を有すること。										
4	事前に登録された運転者以外の者が遠隔点呼を受けることができないよう、個人を確実に識別できる生体認証機能を有すること。										
5	遠隔点呼に必要な以下の情報が遠隔点呼を行う営業所等間で共有され、遠隔点呼時に遠隔点呼実施営業所等の運行管理者等が確認できる機能を有すること。(7項目)										
6	遠隔点呼実施営業所等の運行管理者等が、被遠隔点呼実施営業所等の運転者の疾病、疲労、睡眠不足等の状況を、平常時と比較して確認できる機能を有すること。										
7	遠隔点呼実施営業所等の運行管理者等が、運行に使用する車両の日常点検の確認結果を確認できる機能を有すること。										
8	遠隔点呼実施営業所等の運行管理者等が、被遠隔点呼実施営業所等の運転者に伝達すべき事項を確認できる機能を有すること。										
9	遠隔点呼を受けた運転者ごとに、次に掲げる点呼結果が電磁的方法により記録され、遠隔点呼を行う営業所等間で共有できる機能を有すること。また、その記録は1年間保持されること。										
10	遠隔点呼機器の故障が発生した際、故障発生日時及び故障内容が電磁的方法により記録される機能を有すること。また、その記録は1年間保持されること。										
11	電磁的方法で記録された遠隔点呼結果及び遠隔点呼機器の故障記録の修正及び消去ができないこと、又は修正された場合に修正前の情報が遠隔点呼結果に残り消去できないこと。										
12	電磁的方法で記録された遠隔点呼結果(9.(1)ト、及び(2)ト、を除く)及び遠隔点呼機器の故障記録が、機器・システムで保存された内部構造のまま、一括でCSV形式の電磁的記録として出力できる機能を有すること。										

8. 発売開始日



2022年4月11日(月)

○別紙1 e点呼PRO リーフレット

https://www.tokai-denshi.co.jp/app/usr/downloads/file/1269_20220410092147_download_file.pdf

○別紙2 e点呼PRO 商品説明資料

https://www.tokai-denshi.co.jp/app/usr/downloads/file/1270_20220410151155_download_file.pdf

○別紙3 e点呼PRO 遠隔点呼差分(概略)

https://www.tokai-denshi.co.jp/app/usr/downloads/file/1271_20220410151253_download_file.pdf

○別紙4 e点呼PRO 遠隔点呼差分(詳細)

https://www.tokai-denshi.co.jp/app/usr/downloads/file/1272_20220410151321_download_file.pdf

本件に関する問い合わせ先：東海電子株式会社 営業企画部

東京都立川市曙町2-34-13 オリンピック第3ビル203

E-mail: info@tokai-denshi.co.jp

<http://www.tokai-denshi.co.jp>